

体験農園レポート～じゃがいもの種イモ植え～



ほのぼの堀之内では、生活リハビリの一環として、畑を借り体験農園を実施しています。

9月の活動では、畑のお手入れ、夏野菜の収穫、落花生の生育状況の確認、秋作のじゃがいもの種イモ植え付けを行いました。

秋作の場合は生育期間の関係上9月中旬頃が良いと言われています。天候にもよりますが、12月頃には収穫出来る程になるそうなので、その頃が楽しみです。また5月頃に種蒔きを行った落花生は順調に生育しているようで、10月中には収穫が迎えられられると思われます。ご利用者からも「収穫が楽しみにだわ～」と期待の声が聞かれていました。



製作活動～秋の吊るし飾り作りのご報告～



9月中旬デイサービスではご利用者の方々と製作物として秋の吊るし飾りを行いました。台紙に秋を連想させるイラストを印刷し、それを個々のご利用者にはサミを使って切り抜きをして頂きます。

切ったイラストは紙紐を挟む形で、表裏対で糊付けをして頂きました。イラストは職員が用意したのですが、それをどういった順序で飾るのかは、個々のご利用者によって決めて頂いたため、皆様の個性が出ていました。イラストを切りながら「どんぐりを子供と拾ったわ」「リンゴ狩りに行った事があるの」「昔は銀杏拾いをしたわね」と、皆様の記憶を刺激して、思い出話を伺う事が出来ました。



●10月のイベント情報●

・10月の体験農園は、10月11日(火)19日(水)20日(木)29日(土)を予定しています。

(10月7日(金)は雨天の為中止させて頂いています)

～秋の交通安全について～

10月に入ると急に日没が早く感じられ、18時過ぎに真っ暗になっています。日没前後の2時間を「薄暮時間帯」というそうです。

日暮れの1時間前程から少しずつ薄暗くなり、車や自転車から見ると、周囲のコントラストが薄れて日陰にいる歩行者等の発見が遅れます。また歩行者側からも車や自転車との距離や速度が分かりにくくなります。この為、お互いのミスから歩行者・自転車・車の事故が多くなります。実際、警察庁が分析した結果では1月～9月の月平均の交通死亡事故の月平均は150件ですが、10月は250件と急増し、11月は283件 12月は282件といずれも9月と比べ1.7～1.8倍近くの方が犠牲となっているそうです。

特に「薄暮時間帯」は高齢者の事故が目立つ傾向にあり、高齢者の外出時間帯と日没前後の時間帯が一致する為と考えられています。

●交通事故を予防するポイント●

①道路を横断する時は横断歩道を渡りましょう

(赤信号・黄色信号の時や青信号が点滅している時は渡らず青信号になるまで待ちましょう)

②横断歩道では「手で合図・安全確認」を実践しましょう。

③車の直前・直後の横断は止めましょう。

④車道の斜め横断は止めましょう。

⑤反射材を身に着け、目立つ工夫をしましょう。

(反射材を身に着けたり、明るい服装をするだけで車や自転車からの発見が早まります)



ご家族様におきましても、上記のポイントを守る事が難しい高齢者も居る事を念頭において、安全運転を心がけて頂くと共に、交通安全を考えるきっかけになって頂ければと思います。